

仙台長町未来共創センターにて消防総合訓練を実施しました

実施日：2025年10月7日

仙台長町未来共創センター(以下長町FC)にて、10月7日に消防総合訓練を実施しました。

長町FCでは消防計画に則り、初期消火、119通報、避難誘導など火災時の一連の動きについての演習を行う消防総合訓練を1回/年、入居テナントのみなさまとともに実施しています。今回は4F共用部からの出火を想定し、初動対応の確認を行う第一部と水消火器を操作する第二部の二部構成での訓練を行いました。



自衛消防隊による初期消火活動



避難集合場所での人員報告

第一部：初期消火・通報・避難誘導・避難場所集合

火災発生の放送が流れると速やかに消火班のメンバーが火元に駆け付け、消火器と屋内消火栓の設置場所と操作手順を確認し模擬の消火活動にあたりました。通報訓練では実際の消防署とのやり取りのように建物の住所や出火元についての受け答えを行い、各階に配置された避難誘導員は在館者に声掛けをしながら避難階段からの誘導を行うなど、手を動かし声を出すことで緊迫感が生まれ、よりリアルな消防訓練となりました。



水消火器を使用した模擬の消火活動

第二部：水消火器を使用した模擬の消火活動

参加者は普段触ることの無い消火器に触れ、消火のコツについてレクチャーを受けました。火元まで消火器を運ぶ際の持ち方やピンを抜くタイミングなど、非常時でも落ち着いて操作出来るように一つ一つの手順を確認しながら慎重に操作する姿が見受けられました。

長町FCは複数の企業がテナントとして入居しているため、いざという時にいかに速やかに連携して対処できるかが被害を最小限に抑える鍵となります。今後も訓練を重ね、建物の防火防災活動を推進してまいります。

訓練参加者からの感想と抽出された課題

■ 初期消火について

・屋内消火栓の内部に操作手順が表示されていることを知ることが出来、操作への不安感が薄れた。

■ 119通報について

・消火器付近や給湯室内などに通報内容のテンプレートが掲示されていると非常に落ち着いて受け答えが出来ると思う。

■ 避難誘導について

・避難誘導員はビル内だけでなく、ビルから避難場所（敷地外駐車場）の間にも配置する必要があると感じた。

■ その他

・消火班が行う初期消火や通報などの動きについて、消火班以外の者（避難誘導班など）も見ることが出来るようなシナリオにしてほしい。